

# 大門だより

No. 11  
(437号)

荒川区立大門小学校  
校長 野澤 一代  
令和3年 2月 1日

大門小ホームページ

荒川区立大門小学校

検索

《本校の教育目標》 考える子 やさしい子 たくましい子

随時更新中!

## 「鬼は外 福は内」

校長 野澤 一代

2月、如月（きさらぎ）。「絹更月」「衣更月」と綴るときもあります。この字のとおり、寒さから衣を更に着ることから「きさらぎ」と言われたという説もあります。他に、「草木張月（くさきはりづき）」「梅見月（うめみつき）」「木の芽月（このめつき）」「雪消月（ゆききえつき）」「仲春（ちゅうしゅん）」という異名もあります。どれももうすぐ春ですという月名ですね。

さて、2月といえば節分。今年の節分は、2月2日です。節分は、2月3日や4日ではないかと思うかもしれませんが、そもそも節分の日立春の前日であり、今年の立春は、2月3日のため、2日が節分なのです。立春は「春のはじまり」。節分は「冬の終わり」。季節の区切りを表すものです。この区切りで邪気を払い、新しい季節に幸運を呼び込むための「鬼は外 福は内」なのです。

緊急事態宣言が発出されて約1ヶ月。これといった変化がない「高止まり」の状況が続いています。大門小学校は、保護者の方々のご協力で早く情報共有し相談しながら進めており、大事に至らずに済んでおります。本当に感謝しております。そして、子供たち、「手洗い、マスク励行」が継続しております。素直で真面目な子供たちは、休み時間になると手を洗いに手洗い場に向かいます。おかげで、普通の風邪も流行らず、インフルエンザも流行していません。手洗いの威力、恐るべし・・・です。

様々な新型コロナウイルスの研究がされている中、先日東京医大チームが「手洗いが必要な場面と実施率について」調査しました。関東地方の約2,000人に「感染予防のための手指衛生が大切な五つの場面で、手洗いかアルコール消毒をどの程度実施しているか」聞いてみたそうです。

「いつも実施している」割合が低かったのが「せきやくしゃみ、はなをかんだ後」30.2%。「いつも実施している」割合が一番多かったのが「外出後」76.4%、次が「トイレの後」68.1%。必要な場面で手洗いができている人は2割程度。これを分析した東京医大チームによると「一日11回の手洗い」を行うことが必要最低限の場面で手洗いしていると考える目安になるそうです。（引用文献：東京医科大学 公衆衛生学分野）

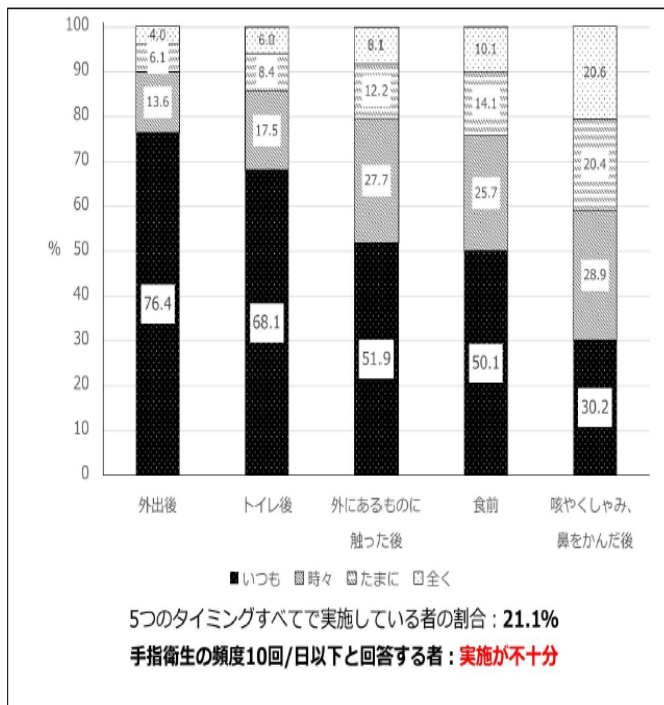


図. 手指衛生の実施頻度と目安となる回数

立春を過ぎるころ、緊急事態宣言が解除される予定です。心から「鬼は外 福は内」したい気持ちです。学校でもご家庭でも引き続き、「自分がうつさない うつらない」「戦っている相手は人ではなく、ウイルス」を合言葉に頑張りましょう。

